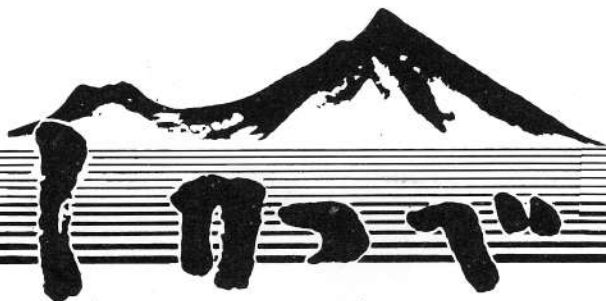


広 報

1. きまりをまもり互いの立場を尊重しましょう。
(村民憲章より)



'82

1月

No. 150号

ついで

迎春



輝かしい新春を迎えて

鹿部村長

川村秀次



村民の皆様、明けましておめでとうございませう。

昭和五十六年はいろいろな思い出を残して静かに暮れゆき、ここに希望に満ちた輝かしい新春を迎えましたことを皆様とともに喜びとするところであります。

平素から村政の執行につきまして、村民の皆様から暖かいご理解、ご支援をお寄せいただいておりますところであり、あらためて深甚なる敬意と感謝を申しあげるとともに、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

私は、昨年二月に村民皆様の厳正なる審判をうけ、三度鹿部村長に就任いたしました。未来に向かつてたくましく歩み続ける鹿部村の歴史のなかで、村民皆様の付託を受け村政をお預りするその責任

と使命の重大さを肝に銘じ、村政の執行に全力を傾注する覚悟を一層新たにしているところでありませう。

近年、私どもをとりまく諸情勢は厳しく、国際問題をはじめとし、エネルギー問題、臨調行革に伴う財政再建、更には物価問題など幾重にも困難な問題が山積し、村民皆様の生活にも大きな影響を与えているところでありませうが、この難局をいかに乗りきるかが、行政を託されている者の課題であり、又責務であります。

地方財政は国家予算の影響を受け、年々厳しさを増しておりますが、村においても行財政の見直しを図り、長期計画にたつた効率的な執行体制の確立につとめながら生活優先の信念に基づき、村議会をはじめ関係機関の深い御協力を得て執行して参る所存であります。

昭和五十六年をふり返ってみますに、努めて平穩裡に願っておりますが、残念なことに台風による被害が村内至るところに発生したことでありませう。又、おめでたいことには、鹿部小学校が開校百周年を迎えたことであり、村民皆様のご協力によりその記念式典を挙行したところでありませう。工事関係においては、本別会館新

築を始め、小学校屋体改修、村道宮浜九号線(道ターミンク場横)新設その他路線の整備、又、消防関係においてはポンプ自動車、広報指令車の購入、防火水槽の新設等体制の強化を図ったところでありませう。

ここで昭和五十七年を展望するとき、財政事情はますます深刻化し、その反面社会情勢の変化に伴い行政需要は更に増大し、かつ複雑多様化してくるものと予想されます。しかし住民生活の向上と地域発展を図るため、財政の健全化を図りつつも新しい時代に即応できる施策を進めて参る所存であります。

新年度においては、永年の懸案でありました山村広場いわゆる村民総合グラウンド(野球場、陸上競技場、テニスコート等)設置のスタートをきるつもりであります。又、従来から実施している漁港整備につきましても、鹿部漁港においては岸壁、防波堤の完全整備、港内浚渫、本別漁港においては新西護岸、新西防波堤の新設、北防波堤の延長を実施すべく強く国へ要望して参るところであります。

新しい年を迎えるにあたり所信の一端を申し上げ、みなさんの一層のご協力をお願いいたしますとともに、ご多幸とご健勝を祈念し年頭のあいさつといたします。

昭和五十七年元旦

明けまして

おめでと

うございませう

謹賀新年

鹿部村役場

村長 長川村秀次
助役 役浜村正夫
収入役 松崎繁四郎

鹿部村選挙管理委員会
委員長 古城猶吉
同職務代理者 清水観由
委員 庭田浄蔵
事務局長 細越秀三郎

総務課 長 岡崎英夫
民生課 長 佐々木成克
税務課 長 盛田栄一
企画・管財課 長 橋本健蔵

鹿部村農業委員会
委員長 小山忠一
同職務代理者 山口繁秋
委員 千葉光夫

建設課 長 松本豊勝
水産課 長 松川猛
水道課 長 相沢正士

同職務代理者 高本鉄雄
委員 高橋浅雄

民総合グラウンド(野球場、陸上競技場、テニスコート等)設置のスタートをきるつもりであります。

委員 高橋浅雄
委員 高橋浅雄

又、従来から実施している漁港整備につきましても、鹿部漁港においては岸壁、防波堤の完全整備、港内浚渫、本別漁港においては新西護岸、新西防波堤の新設、北防波堤の延長を実施すべく強く国へ要望して参るところであります。

委員 高橋浅雄
委員 高橋浅雄

鹿部村教育委員会
教育委員長 山崎篤也
同職務代理者 山科久幸
委員 岩島孝治

委員 古村敏男
委員 古村敏男

新しい年を迎えるにあたり所信の一端を申し上げ、みなさんの一層のご協力をお願いいたしますとともに、ご多幸とご健勝を祈念し年頭のあいさつといたします。

委員 古村敏男
委員 古村敏男

学校教育課 長 桜田政治
学校教育課 長 小田博久
社会教育課 長 土谷文男

委員 古村敏男
委員 古村敏男

外職員一同

委員 古村敏男
委員 古村敏男

年頭のこゝろば

鹿部村議会議長

船橋竹治郎



昭和五十七年の年頭にあたり議會を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

ここに希望にあふれた新春を迎えることができましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年は厳しい経済状況の中で、水産関係においては、各船揚場の整備はもとより、鹿部地区には大規模な海産干場の造成、沿岸漁業振興対策事業として投石並びに並型魚礁設置事業を始め、ウニ種苗移植放流事業等を実施して参りました。

建設関係につきましては、村道路線の新設及び改良舗装、地域より強く要望されておりました本別会館の新築も昨年十二月十日完成し地域住民の生活文化の向上を図るための研修の場として大いに利

用されるものと期待しております。教育環境整備として小学校屋内体育館改修工事更には小学校周辺の排水整備工事も完成を見る事ができました。

こうして私ども議會としては村理事者を中心に微力ながら村政の伸展を期して誠心誠意懸命の努力を傾注して参つたつもりであります。おかげをもちまして大過なく越年することができました。これもひとえに村民各位のご支援とご協力の賜であると心から感謝の意を表する次第であります。

最近における最大の課題は新しい社会経済情勢に即応して、国、地方を通する行財政の抜本的改革を推進することであります。もとより、この改革は当面の財政収支改善のための歳出減らしに止めるべきものではありません。改革の眼目は多様化する行政需要へ対応、安定成長下にふさわしい行政の減量化、行政と民間並びに国と地方の適正な機能分担等の基本問題に的確にこたえ、二十一世紀を展望する行財政体制を確立することであります。

このような事から行革による波及が地方自治体にも大きく影響してくる事は必至の状態であります。当然これに対応する心構えとして

従来の在り方に対する見直しが要求されることはいうまでもありません。限られた財源を如何に有効に活用し、住民の要求にこたえて血となり肉となり得る施策を樹立実施しなければならぬ誠心誠意の重大な時期に入つて参りました。

しかしながら住民生活の安定、福祉増進を図るには、今後幾多の重要課題が山積しております。毎年のことではあります。限られた財源の中で、鹿部村総合計画に基づき、基幹産業である漁業の振興、特に鹿部、本別両漁港の整備を促進し、漁船漁業の活発化を図る外増養殖事業の普及などにより経営の多角化と通年経営が図られるよう推進して参らなければなりません。

又、社会生活基盤の整備として住みよい郷土建設をめざして、住宅、保健医療、社会福祉などの施設、並びに体制の拡充整備を図りながら村民福祉の向上のため老人福祉問題や青少年の未来に明るい夢をもたせる教育文化の向上に一層の努力をしていかなければならないと決意を新たにしている次第であります。

幸い昨年第三期山村振興計画の策定により山村広場、いわば総合グラウンド建設のための用地買収も終り五十七年度より工事に着手する事になりました事は、皆様と共に大いに喜びとするところであり

ます。

これらの計画を達成するためには、資金需要は極めて高いものと考えられます。特に一般財源の確保を図ると共に、起債枠の拡大を求め、重要開発事業に対する国道補助事業の拡大を要望し、各事業に亘り、村財政の健全性を保持しつつ、積極的に施策を推進して参らなければなりません。もとより、理事者、議會の各々の分限をわきまえながら、その機能を逸脱することのないよう、然も施策の推進に当っては一身同体となつて対応する心構えを念頭に、先進地町村の足跡を学び、堅実な住民参加の在り方を捉え今後に処さなければならぬものと痛感しております。どうか本年もより一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。昭和五十七年が村民皆様にとりまして幸せな年でありませうお祈りし新年のごあいさつと致します。



つつしんで
新年の
御祝詞を
申し上げます

鹿部村議會

議長 長 船橋 竹治郎

副議長 長 吉 武夫

総務常任委員長 西谷 正昭

同 副委員長 小田 輝次

同 委員 員 小山 忠一

同 委員 員 千葉 光夫

同 委員 員 川村 太一

同 委員 員 渡部 良次

同 委員 員 川口 常行

同 委員 員 高田 春吉

同 委員 員 毛利 武蔵

同 委員 員 吉 武夫

同 委員 員 松川 義雄

同 委員 員 吉田 武雄

同 委員 員 棟方 健太郎

同 委員 員 高橋 浅雄

同 委員 員 佐藤 友一

同 委員 員 幡 隆志

同 委員 員 外職 員一同

鹿部村監査委員

代表監査委員 大 沢 喜代治

監査委員 高 橋 浅雄

年頭に当って



北海道知事

堂垣内尚弘

明けましておめでとうございます。昭和五十七年の新春を道民の皆さんとともに迎えることができましたことは、私の大きな喜びであります。

顧みますと、昨年は国の内外を通じて、誠に多事多難な年でありました。本道におきましても、長期的な景気の低迷と、稲作減反、牛乳の需給不均衡や外国艦船による漁具被害等の農漁問題、更には、国鉄地方交通線や行財政改革の諸問題など、重要な課題が山積するなかで、春先からの異常低温に加え、夏には集中豪雨による被害、秋には北炭夕張新鉱の事故がばつ発し、かつてない大災害に相次いで見舞われました。

農作物被害や水害、炭鉱事故で被災された方々に衷心よりお見舞

を申し上げますとともに、救援や復旧に御協力をいただいた皆さんに対し、心から感謝の意を表する次第であります。

しかし他方において、苫小牧東部工業基地へ企業の進出、千歳空港の国際化、貝殻島コンパ漁の五年振りの再開等があり、また、北方領土の日”の制定と総理大臣の現地視察等により北方領土問題に対する世論の大きな高まりが見られ、更に石勝線や国道三三一号線の開通など、本道の将来に希望と明るさをもたらす画期的な出来事や動きも数多くありました。

また、道民待望の青函トンネルの工事も順調に進み、先進導坑は、本年、貫通が予定されているなど、本道の発展の基盤作りは着実に進められているのであります。

本道を巡る社会経済情勢は極めて厳しいものがありますが、以上のような実態を踏まえ道民の皆さんとともに、多くの困難や障害を乗り越え、明るさと希望あふれる郷土北海道作りを、更に力強く推し進めなければならない重要な年であると考えております。

私は、かねてから本道を、北方の風土に根ざした、たくましい潤いのある地域社会”に作り上げることを、道政の目標に掲げ、「北海道発展計画」の推進を軸に、諸

年頭のあいさつ



渡島支庁長

片山 忠

明けましておめでとうございます。

新たな希望に輝く昭和五十七年の新春を、つつがなく迎えられたことを心からお喜び申し上げます。昨年は内外ともに厳しい経済変

化策を積極的に進めてまいりましたが、本年は丁度、この計画の中間年に当たり、私としては、将来の我が国をけん引する北海道の基礎固めのため、更にこん身の努力を傾注してまいる決意でありますので、道民の皆さんの、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

新しき年の初めに当たり所信の一端を申し上げますとともに、皆さんのますますの御健康と御多幸を祈念して、ごあいさつと致します。

昭和五十七年元旦

動に見舞われ、景気は依然として回復せず苦しい経済情勢が続いたうえ、二年続きの異常低温、更には、台風による集中豪雨により、農作物等に大きな被害を受けるなど多難な年でありました。こうした厳しい社会情勢の中にあつて、道では健全財政を堅持しつつ、より効果的な諸施策を積極的に推進してきたところであります。

一方管内においては、この様な情勢の中にあつても農業基盤整備が着々と進められ、中でも稲作の改良として永年の努力がみのり、道内唯一の銘柄米「巴まさり」より優ると言われている良質米「しまひかり」が初収穫されたとともに漁業においても浅海養殖事業の拡大による資源の回復、育てる漁業への努力が実を結び、サケは近年にない程の豊漁に恵まれたことさらには低迷を続けてきた造船不況にも明るさが戻ってきたこと等、明るい話題も数多くありました。

更に管内は、かつての本道開拓の拠点としての誇りを持ち、大きな希望に燃えて開発が進められており、今年には世紀の大事業である青函トンネル先進導坑の貫通が予定される記念すべき年であり、またクリーンエネルギーとして注目を集めている森町濁川の地熱開発、函館市を中核とした広域的総合計

画発展構想の推進、さらには調査地点に指定され本格的に誘致に乗り出しているテクノポリス構想等、渡島のこれからの発展に大きな期待が寄せられているところであり、これが実現に最善の努力をするとともに地場産業の振興、社会福祉の充実、教育文化の振興、更に青少年問題、交通対策等、きめ細かな施策の推進に努め、人間優先豊かな地域、だれもが住みたくなるような渡島をつくるため、なお一層の努力をいたしたいと存じます。

今年も情勢は一層厳しく、生活の安定や産業の振興を図るうえで多くの問題が予想されますが、皆様方とともに、これらの困難を一つ一つ克服し豊かな地域づくりに努める所存ですので、皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

輝やかしい年頭にあたり本道開拓の歴史と伝統に輝く渡島の限りなき発展のため、一層の御精進をお願い申し上げます。御健康と御多幸を心からお祈り申し上げます。



昭和57年

あけまして

おめでと〜んぱいぎむ〜ます

いろはガルトの一枚目は、ご存じ「犬も歩けば棒（ぼう）にあたる」。

これは「物事をなそうとする者は、それだけ災難に遭うことも多い」という意味とも、「やっつてるうちには、思いがけない幸運に会うこともある」という意味だともいわれています。

今年、戌（イヌ）年。どちらの解釈をとるにしても、慎重な心配りのもとに積極的な努力を惜しまず、開運間違いなし——といきたいものです。

犬といえば、知恵・勇気・誠実の代名詞のような動物。「桃太郎」や「花咲爺（はなさかじい）」に登場するのも、そういう犬たちです。また、遠く「日本書紀」には、白犬が倒れた主人を守って餓死す

るまでそばを離れず、その心を哀れんだ天皇の命で、主人と並べて墓に葬られたという、忠犬ハチ公の先祖みtainな話が記録されています。

能力を発揮しています。しかし、今日では、犬の主な役目は愛玩用。「ペット元禄」と呼ばれるほどで、犬専用の目薬やビタミン剤、シャンプーまで店頭に

ことしは イヌ 戌年



そんなはるかな昔から、犬は人間の大切な「協力者」だったわけです。いまも狩猟犬、牧羊犬をはじめ、新しいところでは盲導犬、救助犬、警察犬などとして優れた

並んでいます。ところで、妊産婦の帯祝いには「戌の日」が選ばれるように、犬は安産・多産の象徴になっています。では、イヌ年生まれの人ほどのく

らいいかといえますと、意外に少なく全国でざっと八百七十四万人（総理府統計局調べ）。日本の総人口を十二支別に分けてみますと、十一番目になります。ちなみに、最も多いのがサル年生まれの人で、約千三十六万人、いちばん少ないのがトリ年の約八百三十六万人です。

そんなわけで、十二支も一種の「生活美学」とみれば、なかなか趣深いもの。犬の特徴にあやかっただ、ことしもすばらしい年にしたいものですが、「一犬虚に吠（ほ）ゆれば万犬実（まこと）に伝（つた）う」のことわざもあります。

自分の目で事実を見定め、自分の心で判断するように心がけ、軽しい付和雷同は避けたいものです。

ことしの抱負

ことしは戌(イヌ)年。十二支では第十一番目になります。そこで、イヌ年生まれて、村内に住んでいる方がたの中から、無作為に抽出して今年の抱負等をひとつ伺ってみました。

皆さんそれぞれ新鮮な気持ちで新しい年を迎えられたことと思えますが、あなたにとって今年の決意のほどは?...

一日一日を大切に



五年一組 村田 昌弘

今年、ぼくの年、大年です。ぼくは、生活のたいどは、あまりよくないけれども、すこしずつがんばりたいと思います。

生活態度のどこがわるいか、自分でもわからないが、前までは、気持ちをしつかり持てないで、自分でなにをやっているのか、わからないことがあります。

これからは、自分のことをしっかりとみて、生活態度をしつかりしたいと思います。

今年、ぼくは六年生です。自分のやりたいことを思うぞんぶんやりたいが、自分かってなこ

とは、ぼくが、わがままをいっているのとおなじです。

かってに、ろうかを走ったり、教室を走りまわったりして、ぼくばかりでなく、同じようなことをしている人たちがいます。

それで、前に、一回、勉強もやらないで、学級会をやって、先生から、いろいろと話を聞かされたことがあります。

今年のことあまり考えないでみんな毎日たすけあったり、教えあったり、遊んだりして、みんなとなかよくやりたいと思います。

一日、一日をたいせつに、がんばっていききたいと思います。

父の夢では、ぼくを大学にやりたいといいますが、できるかできないかわからないけど、ぼくもいききたいと思います。

勉強時間、手をもっとあげて、発言するとか、習ったことをよくしゅうしてあげば、大学にいけるかもしれないと思います。

イヌ年への願い



五年二組 伊藤 いくお

今年、わたしの生まれた大年なので、自分でやりたいなー、ほしいなーと思ったことを、みんなやってしまおうと決めました。お正月にお年玉でりっぱな天体望遠鏡を買って、たくさん星をさがしをしないと、思っています。ずっと前から、すこしずつお金をためてきました。そのお金と、お年玉をあわせて、天体望遠鏡を買おうと思っていました。この願いは、ぜったいかなえたいです。

それから、前よりもつと算数をすきななり、もっと力を入れがなばりたいです。わたしは、計算問題がとくいで、文章問題がだいのにがてです。だから、文章問題をたくさん練習しようと思います。この二つの願いを大年にかなえたいです。

イヌ年に向って



五年三組 盛田 ゆかり

今年、大年です。私にとってもいちばんいい年です。だから、けがやびようきのないような年になりたいと思います。

犬年は、六年生にしかありません。12年に一回しかない年です。それに、はじめての犬年なのでこの一年間は、六年になるし、活動をたかめていききたいと思えます。そして下の小さい小小学や幼稚園児のめんどうをみて、しっかりと六年生になりたいと思えます。私の今年のゆめは、そろばんの二級めざしてガンバリたいと思えます。

両親に旅行のプレゼントを



公務員 岩 島 裕子
ことし誕生日がくると24才、早いものです。役場につとめてからもう6年になります。

去年は、身辺にいろいろな変化があったのですが家族や友人のおかげで無事にのり切ることができたように思います。

今年も又、みんながそろって健康で新しい年を迎えられ、一番せ

ことしの主役は、戌(イヌ)年生まれ

サークル活動に頑張りたい



漁業 熊川安彦

ことは私の迎える3回目のイヌ年、したがって当年とって36歳になる訳ですが、ことわざのとおり歳月が過ぎるのは誠に早いものです。

去年は、コンプ漁をはじめ何の仕事も不況であったようですが、ことはコンプ、スケソ、ホタテが大漁でありたいですね。

私は第一区町内会の町内会長もしていますがその他のいろいろなサ

ルクルに加入して一年中スケジュールがぎっしりです。奴保存会、演歌カラオケ愛好会、野球クラブ、結婚式の司会の会、等々みんな楽しいサークルです。で、ことしも張切ってサークル活動を行ないたいと思います。

しかしわが家にとつてことし一番うれしいことは、長男が幼稚園に入ることです。今から運動会、おゆうぎ会が楽しみです。

今年も横浜球場へ



漁業協同組合 佐藤慶一

17年目、今の仕事は沖の船と毎日交信する無線局づとめです。

去年は、コンプ漁はかんばしくなく、スケソこそまあまあでした

が、ことしこそコンプもスケソも大漁してほしいものです。仕事中は、事故のないように、大漁するように祈りながら交信しています。今年も海上の船舶に正確な情報を送り、豊漁の手伝いになればと

商売をはじめて十年目



商業 木村宗四郎

今年是我的生まれたイヌ年であると同時に商売をはじめてから、ちょうど十年目の節目の年なので頑張りたいと思います。

思っています。

又、去年は、むすこが中学校で野球部にいるので横浜球場まで応援に行ってきました。ことは、むすこも三年生で中学校生活最後の年なのでぜひまた横浜へ行ったいものです。ガンバッテやってもいいと思います。やっぱり全国大会はいい雰囲気ですからね。

ことは私の年



去年は、コンプ漁をはじめ前浜の景気もあまりよくなかったんですが、話によると今年天然コンプがありそうなので期待しています。私たちの商売も前浜の景気に左右されるのでコンプ、ホタテ、スケソ、ウニ等みんな大漁してもいい。

しかし依然として物価問題などにより見通しは明るくないようですが、むすこも今年で高校を卒業しますので、私と妻、娘二人そしてむすこと一家みんな十年目の年をよい年にしたいものです。

◆ ◆ ◆

子供たちに珠算資格を



主婦 武藤涼子

子供たちは除夜の鐘で新年を迎え無邪気に新年を喜んでいきます。今までの私にもそのような気持ちの心の片隅にありました。又、今年がだめなら来年があると言う開き直りの気持ちもありました。それは若さの象徴であったかも知れません。ところが三十代も半ばを過ぎ、頭に白いのがみえはじめると、無邪気に正月を喜んではいられません。

この年齢になつてはじめて、お金で買えない年齢の尊さを実感し

ています。「歳月は人を待たず」この言葉が私の胸にずっしりと重く感じられます。

駒ヶ岳の雄大さと噴火湾の魚の美味しさに舌つづみをつっているうちにこの地、鹿部にも十年間もとどまったことに今更ながら驚いています。

昨年は、毎日のように暗いニュース、悲しい話題の流れの中、随分訳のわからない若者の流行語が氾濫した年でした。こんな雑多な生活の中で何を信じて、何を希望につないでいくのか、その糸口さえ見つけ出す事が困難になってしまいました。

そんな私にもささやかな希望があります。それは子供たちに珠算を教えることです。一人でも多くの子供たちに資格を取得させ、何らかの形でその努力が将来報われる事を信じて頑張りたいと思います。

漁業 盛田正美

四年目を迎えるようとしている我家のホタテ養殖、去年はコンプ漁に比べるとよい方でしたが、異常へい死や貝毒による累積赤字があるのでことしこそはと思っています。

やはり良いホタテをとるには、数量規制や、稚貝の入替、耳づり等のいろいろな方法をしなければなりません。それだけ作業量が増え、家族のみんなの協力を必要としますが、一家総がかりでこの難局を乗り切りたいものです。

又、ことは、孫が幼稚園に入園するのでこれも楽しみの一つです。

何はともあれことはイヌ年、私の年なので一生懸命頑張つてよい年にしたいものです。

百周年記念事業のお礼と決算報告

鹿部小学校長 佐藤 正男

村を挙げて取り組んでいただいた百周年記念事業が、無事終了いたしました。事務局としては、万々手ぬかりが無いように、と気をつけて推進に当たったつもりでしたが、やはり色々と手落ちがあつて皆様に迷惑をおかけして申し訳なく存じています。

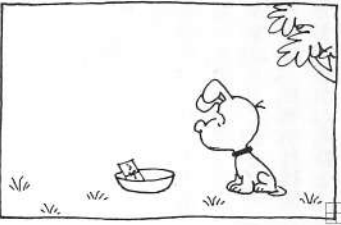
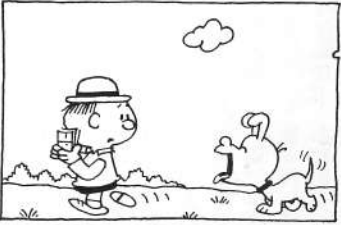
協賛会の活動を通して、広く村内外から寄せられた皆様のご好意により、予算面でも予想を上廻るご協力を戴きました。厚くお礼を申し上げます。

決算残額の使途についても、学校に必要な備品等を購入するよう一任いただきましたので、皆様の意志が最大限生かされるよう慎重に検討して参りたいと思つています。

広報紙面をおかりして、今後と

もよろしくご協力の程をお願いしながら、お礼にかえさせていただきます。

ほのぼの家 伊田公彦



収入の部

項目	予算円	決算円	備考
一般寄付(村内)	4,000,000	4,393,300	1,088戸
同窓生寄付(村外)	2,500,000	1,814,842	268戸
村助成金	2,000,000	2,000,000	
特別寄付	500,000	1,950,000	44戸
雑収入	0	20,519	預金利息
計	9,000,000	10,178,661	

支出の部

項目	予算円	決算円	増減円	備考	
式典費	記念品(児童)	325,000	390,000	-65,000	文鎮 600×650
	"(寄付者)	1,200,000	845,000	355,000	手拭 650×1300
	"(招待日職員)	160,000	130,000	30,000	" 650×200
	計	1,685,000	1,365,000	320,000	
運営費	表彰者記念品	425,000	433,000	-8,000	寒暖計 額縁 感謝状 4,850×88+6,200
	通信・運搬	400,000	349,050	50,950	案内状記念誌趣意書発送、車借用、振替手数料
	会議・出張	150,000	41,640	108,360	印刷所連絡 理事会
	環境・設営	200,000	294,870	-94,870	看板標識材料、ペンキ、ブロック 脚立
	庶務・雑費	175,000	195,085	-20,085	印刷 生花 リボン 更紙孔版紙 封筒
計	1,350,000	1,313,645	36,355		
記念行事費	記念誌・名簿	3,910,000	3,940,000	-30,000	記念誌 同窓会名簿
	作品展覧会	90,000	83,075	6,925	模造紙 作品材料 白ボール
	集会マラソンお祭り	250,000	338,734	-88,734	賞状用紙 仮装行列看板 花火 バス借用
	記録	100,000	128,236	-28,236	写真 カセットテープ ビデオ関係
	計	4,350,000	4,490,045	-140,045	
事業費	設 備	1,500,000	1,514,700	-14,700	リモコンシステム 鉄棒 ピアノ 中幕
予備費	予 備	115,000	43,760	71,240	手伝い、アトラクション接待謝礼
計		9,000,000	8,727,150	272,850	

収支決算 10,178,661円 - 8,727,150円 = 1,451,511円 (残額は百周年記念にふさわしい学校備品等に充当する)

会計監査の結果相違ないことを認めます。 昭和56年12月4日

大沢 喜代治 竹浪 健三 杉田 賢一
種崎 利男 浦 梅 吉

広報係から

村民のみなさん明けておめでとうございます。

昨年は、広報「しかべ」をご愛読いただきありがとうございます。

不透明な時代といわれる80年代も3年目を迎え、月日の歩みの早さと、みずからの無能を知らされるようです。

新しい年を迎えて、今年こそみなさんに、愛読してもらえる広報「しかべ」の紙面づくりに頑張る覚悟を新たにしております。

みなさんのご協力をお願い申し上げます。

また村政や広報「しかべ」に対するご意見、ご感想、ご希望などがありましたら、どうぞお気軽にお申し出下さい。

<企画管財課広報係>